稲光会報

平成6年9月1日発行
編集　早稲田大学稲光会
発行者　北原輝久
題字　滝口宏
印刷　錦王友社
第17巻第23号

ページの窓

1ページ…世界に活躍が期待される現役部員
2・3ページ…リーグ戦ワイド詳報
4ページ…新入部員紹介

金子会長、日本協会顧問に

金子誠会長が日本フェンシング協会の顧問に推挙されました。4月の同協会理事会で決まったもので、協会の年度替わり7月1日付をもって就任します。稲光会が毎年11月3日都協会主催の滝口杯争奪ベテラン選手権大会を共催するなどの実績を評価されてのものです。なお成瀬正澄会員は平成5年7月1日付で同協会の会計監事に就任、全国理事会に出席するなど協会の行事に参画しております。

▶会計監事就任の成瀬会員

▲顧問就任の金子会長

◀コーチ就任の春日(左)出野(右)の両会員

50周年、もうすぐです！

平成8年に母校フェンシング部が創立50周年を迎えます。稲光会では実行委員会（金子誠委員長）を設け、記念事業の企画等の検討を行っていますが、記念すべき式典を盛大に挙行するためには会員の皆様の御協力が必要です。会費寄付等の納入をよろしくお願い致します。

春日、出野両会員コーチ就任

平成6年度総会で春日竜二、出野晴信両会員のコーチ就任が承認されました。春日会員は松戸クラブで田中、岡田等を育て、最近では月曜会等大学の練習にも参加、後輩の指導にあたっています。出野会員は電通勤務という激職にありますが、週休2日制を利用して大学の練習に顔を出しレッスン、ファイティング等を行っています。両会員ともまだ若く、体力があるので、部員にとっては心強い指導者の登場です。ご期待下さい。

合宿案内

今年の夏合宿は群馬・尾瀬戸倉温泉で行われます。左記要領で行いますのでふるってご参加下さい。

〈合宿日程〉
◆期日　平成6年9月4日(日)～同13日(火)。
◆場所　群馬県利根郡片品村尾瀬戸倉
「マルイ旅館」TEL0278(58)7015
◆問い合わせ　マネージャー渡辺靖仁まで
TEL(3996)7820(自宅)、(3203)8605(部室)

新入部員紹介

①出身高校　②学部・学年　③競技歴　④抱負

●桑波田卓
①早稲田高校②教育学部1年③都大会8位（フルーレ）、関東大会出場（個人戦）④初心に返って頑張ります。

●中村匡徳
①神奈川県立厚木高校②理工学部2年③県新人戦3位（フルーレ）、関東大会出場(個人戦）④常に向上心を持って頑張ります。

●林　隆平
①東京・東亜学園高校②人間科学1年③インターハイ3位（サーブル）④常に前向きの姿勢で取り組んでいきます。

●岡田千恵子
①千葉県立松戸高校②教育学部1年③インターハイ3位（フルーレ個人）④1部を目指し、元気に頑張ります。

●黒田　尚
①神奈川県立厚木高校②社会科学部③県新人戦8位（フルーレ）、インターハイ県予選3位（サーブル）

●代田卓之
①早大学院②理工学部1年③5大学大会2位(個人戦)、関東大学出場（団体戦）④同期生は皆ライバル、頑張ります。

●佐藤嘉秀
①早大学院②政経学部1年③船橋大会3位、関東大会出場(団体戦)④少しでも上達するよう努力、努力です。

●渡辺高志
①早大学院②理工学部1年③船橋大会優勝・関東大会出場(団体戦)5大学大会3位(個人戦)④強くなって早く先輩方を倒したいです。

●松原直樹
①早大学院②法学部1年③関東大会出場(団体戦)、5大学大会優勝（個人戦）④早くレギュラーの座を獲得できるよ頑張ります。

田中奈々絵大活躍

世界選手権代表の座を獲得、アトランタを目指す！

男子の田中もジュニア代表に！

前号でご紹介した女子部員・田中奈々絵（教育・2）が大活躍です。3月、福岡市で行われたアジア・ユース選手権女子フルーレで優勝し、メキシコのジュニア世界選手権に出場。5月の選考会で3位に入り、今度は世界選手権（7月・アテネ）代表の座を獲得。新聞、雑誌、テレビにもその活躍ぶりが紹介され、今や早稲田の選手というより〝日本の奈々絵〟として、3年後のアトランタ五輪での活躍を期待されています。

17歳以上、20歳未満の年齢層で行われる試合がジュニア戦（アジアではユースと呼んでいます）ですが、田中は今やその部門の日本のエース。福岡でのアジアユースでは準決勝、決勝で共に強豪韓国選手との対戦となりましたが、危なげない試合運びで連破、日本に初の金メダルをもたらしました。この活躍が評価され、リーグ戦開会式（4月19日、東京・駒沢体育館）で学連監督会から特別表彰を受けています。

年齢的にはジュニアですが、5月の最終選考会（東京・厚生年金館）では大人の選手たちに混じって奮戦。女子エペの部で3位に入賞し、今度は世界選手権代表選手となったものです。田中のこの活躍ぶりは日本協会関係者の関心を引き「田中君は日本の財産です」「北岡安才専務理事」と絶賛されるほど。'95年の福岡ユニバシアード大会、'96年アトランタ五輪の代表選手として活躍してくれる事は間違いないでしょう。ご期待下さい。

▶エペで好成績をあげた田中秀行選手
▲ジュニアで活躍をした田中奈々絵選手は今後が楽しみ

男子・田中秀行もジュニア代表に

今年のジュニアでもう一つ特筆すべき事は男子部員田中秀行（商・2＝写真）も代表選手（エペ）になった事です。田中は学院出身。これまでわが部の国際大会代表は全て推薦入選手で占められていましたが、田中は初めてその通例を破り世界大会に出場したのです。福岡ユースでもエペで4位入賞、この種目では日本選手中最高の成績でした。大学入学時から種目をエペ1本に絞り努力してきたのが実を結んだといえましょう。

なお、春日竜二会員がコーチに推され、福岡アジア、メキシコ世界大会に同行しました。

今年は林（男）、岡田（女）が推薦入学

今年度の人間科学部特別選抜入試で林隆平（東京・東亜学園＝インターハイでサーブル3位）、教育学部の自己推薦で田中奈々絵の後輩岡田千恵子（千葉県立松戸高、インターハイ女子フルーレ個人3位）が入学しました。

岡田千恵子

林　隆平

リーグ戦女子2部へ

今年のリーグ戦（4月19日～23日）で女子は3部優勝（フルーレ、エペ）。入替戦にも優勝して2部昇格を果たしました。男子は振るわず3位（フルーレ）、5位（サーブル）、3位（エペ）に終わってしまいました。

（2～3面リーグ戦詳報参照）

1994 リーグ戦レポート

女子2部昇格！

前年に続く快進撃——

男子は若さが裏目に…

'94年度関東学生リーグ戦は4月19日～23日の間、東京・駒沢体育館、都立夢ノ島体育館などで行われました。女子は前年に続く快進撃でフルーレ、エペ共に全勝優勝。入替戦でも2部最下位明治学院大（フルーレ、エペ）を全く相手にせず連勝、二部昇格を決めました。男子は不振。下級生中心の若さが裏目に出てフルーレ3位、サーブル5位、エペ3位に終ってしまいました。

▲2部昇格を果した女子部員たち
左から、田中、高田、戸ヶ崎、岡田

［女子］女子はインターハイ4位の田中、同3位の岡田、同3回戦まで進出した戸ヶ崎、それに経験豊富な主将高田と充実したメンバー。これはもう1部で戦える戦力です。フルーレは田中、戸ヶ崎、岡田の3人で固め4試合を全てストレート勝ち。エペは戸ヶ崎に替わった高田がチームを引っ張りました。小柄ながら、エペ1種目に的を絞って練習してきた成果がリーグ戦で出て、若い岡田のつまずきをカバー。田中と並んで9戦8勝1敗の好成績を挙げて主将の面目を保ちました。

入替戦でも快進撃は続き、明学大を全く問題とせず連勝、あっさり2部昇格を決めました。来年は2部優勝、1部昇格が目標。これまでのように快進撃とはいかないでしょうが、何とか期待に応えてくれそうです。

［男子］不甲斐ない！この一言に尽きます。フルーレ緒戦の対明大戦こそ9勝4敗と完勝。幸先よいスタートを切ったのですが、2戦目の慶応戦で早くもつまずくありさま。前日の緊張感の反動、そして慶応を甘く見た気のゆるみがあったのでしょう。前半は5－3と有利に試合を展開していたのですが、中盤以降、慶大の捨て身の反撃に出会うとたじたじとなり、気ばかり焦ってポイントが定まらない。ほとんど自陣のエンドライン付近で戦うなど慶大に押しまくられて7勝9敗と思わぬ黒星。続くダブルヘッダー第2戦（対立大）も落とし早々と優勝争いから脱落したのでした。このショックから立ち直れずにサーブルでは5位と全くの不振。4年生が主将保谷ただ1人。レギュラーを3年、2年で固めた若いチームで、勢いに乗れば……との期待感はあったのですが結局若さを露呈するという裏目が出てしまいました。反省、反省——。1年間じっくりきたえ直して来年再び挑戦します。

（監督・川名宏美）

▲2種目に活躍した新人・岡田（手前）

▲重りテストを受ける高田

▲女子快進撃に応援ベンチも笑顔ばかり

〈早慶戦10連勝!!〉

平成5年度の早慶定期戦は昨年11月、日吉の慶大体育館で行われ、早大が2勝1敗と勝ち、連勝記録を10とフタ桁台に乗せました。しかし今年はリーグ戦で慶応には3種目とも負けています。連勝記録を伸ばすためにもぜひご声援をお願い致します。

［ルールが変わりました］

FIE（国際フェンシング連盟）のルール改正に伴い、関東学連も今年のリーグ戦から新ルールを導入して試合を行っています。早慶戦観戦の折などにまごつかないよう、主な改正例を列記しておきます。

◆試合時間は4分間。3種目とも試合は4分間（実動）5本勝負です。なお1分前の警告はありません。

◆アドバンテージ制。個人・個体戦ともに試合ごとにコイン投げ等で一方の選手にアドバンテージを与えます。同点でタイムアップになった場合、アドバンテージを与えられた選手の勝となります。フルーレ、サーブルは影響ありませんが、エペはこのために勝った（負けた）例がかなりありました。

◆フレッシュ禁止。サーブルに限りフレッシュとパスアバン（足を交差して前に出る）は禁止となりました。危険防止と試合の単調化を防ぐためで、技術（フットワークも含め）のしっかりした選手が有利になります。またサーブルでは同時攻撃のルールも廃止になり、何度やってもやり直しになりました。

'94年リーグ戦成績

〈女子〉

［入替戦］

▽フルーレ

早　大　5－0明学大（3部）（2部）

▽エペ

早　大　5－0明学大（3部）（2部）

○出　中5－2山　野●
○岡　田5－1渡　辺●
○戸ヶ崎5－0塩　崎●
○岡　田5－0山　野●
○戸ヶ崎5－2渡　辺●
（早大は2部昇格）

○出　中5－2山　野●
○岡　田5－4渡　辺●
○田　中5－0山　野●
（早大は2部昇格）

［リーグ戦］

▽フルーレ

○早　大5－0東農大●
○早　大5－0明学大（3部）（2部）
○高　田5－2渡　辺●
○岡　田5－3山　野●
○田　中5－0塩　崎●
○岡　田5－4渡　辺●
○田　中5－0山　野●
（早大は2部昇格）

○早　大5－0東農大●
○早　大5－0学習大●
○早　大5－0埼短大●
○早　大5－0上智大●
（国士大は棄権）

［順位］①早大4勝②埼短大3勝1敗③学習大2勝2敗④東農大1勝3敗⑤上智大5敗

［個人成績］田中奈々絵7戦7勝　戸ヶ崎育子6戦6勝　岡田千恵子6戦6勝

▽エペ

○早　大5－3上智大●
○早　大5－1学習大●
○早　大5－2東農大●
○早　大5－1埼短大●
（国士大は棄権）

［順位］①早大4勝②東農大2勝2敗③上智大2勝2敗④学習大2勝2敗⑤埼短大5敗

［個人成績］高田明子9戦8勝1敗　田中奈々絵9戦8勝1敗　岡田千恵子9戦4勝5敗

〈男子〉

▽フルーレ

○早　大9－4明　大●
●早　大7－9慶　大○
●早　大3－9立　大○
○早　大9－0国士大●
○早　大9－2東農大●

［順位］①明大4勝1敗②立大4勝1敗③早大3勝2敗④慶大2勝3敗⑤東農大2勝3敗⑥国士大5敗

［個人成績］上杉芳彦16戦11勝5敗　羽田光二15戦10勝5敗　保谷公司15戦9勝6敗　本間真14戦6勝8敗　永野高輔1戦1勝

▽サーブル

○早　大9－0国士大●
●早　大7－9東農大○
●早　大5－9立　大○
●早　大7－9慶　大○
○早　大9－7明　大●

［順位］①立大4勝1敗②東農大3勝2敗③明大3勝2敗④慶大3勝2敗⑤早大2勝3敗⑥国士大5敗

［個人成績］渡辺靖仁17戦10勝7敗　羽田光二17戦9勝8敗　保谷公司15戦11勝4敗　本間真5戦5敗　小室猛士3戦2勝1敗

▽エペ

●早　大3－9慶　大○
●早　大5－9慶　大○
○早　大9－5立　大●
○早　大9－7明　大●
○早　大9－1国士大●

［順位］①東農大5勝②慶大4勝1敗③早大3勝2敗④明大2勝3敗⑤立大1勝4敗⑥国士大5敗

［個人成績］保谷公司18戦15勝3敗　田中秀行17戦8勝9敗　上杉芳彦16戦8勝8敗　片島章徳8戦2勝6敗　永野高輔6戦1勝5敗　市川武志2戦1勝1敗